

提案者

山口県宇部市

実施地域

山口県宇部市

事業概要

農業センサーにより、「**戦略的作物**」(オリーブ・お茶・トマト・花き等)の栽培環境と栽培技術の見える化を実施。蓄積データを基に、品質の安定化等に繋がる効果的な栽培ノウハウを研究・創出し、生産性の向上を図り、農業所得の向上、栽培技術の継承、担い手の確保・育成さらには遊休農地の解消、地域活性化に繋げる。

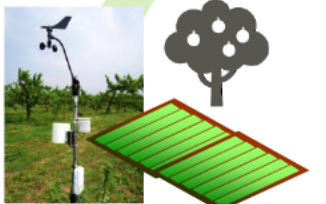
戦略的作物

IoTの活用

生産性向上



生産現場での
気づき・作業データ



お茶・オリーブ
露地環境のセンシング



トマト・花き
ハウス内環境のセンシング

各種センサー・設備等



圃場センサー



ハウス・設備



カメラ



スマホ記録

▶気温や湿度等の環境データ、画像データ、生産現場で投入した気づき・作業データ等を、生産現場毎に**蓄積**

▶収集・蓄積したデータを協議会で**共有**し、データの比較・分析を行い**気づき・知見**を得る

▶アラートメール通知により現場生産者への速やかな情報共有による**活動支援**



露地・ハウス環境監視



アラートメール通知

あらかじめ設定した気象条件の上下限値を外れるとメールで通知!



収集データ比較・分析



気づき・知見を得る



共有する



活動する

連携・研究

- ▶ 農業所得の向上
- ▶ 担い手の確保・育成
- ▶ 遊休農地(220ha)の解消
- ▶ 地域活性化

宇部農業IoT活用協議会



ノウハウの蓄積 データの共有・分析

- ▶ 生産者(協議会等)
- ▶ J A 山口宇部
- ▶ 教育機関・研究機関
- ▶ 宇部市・山口県

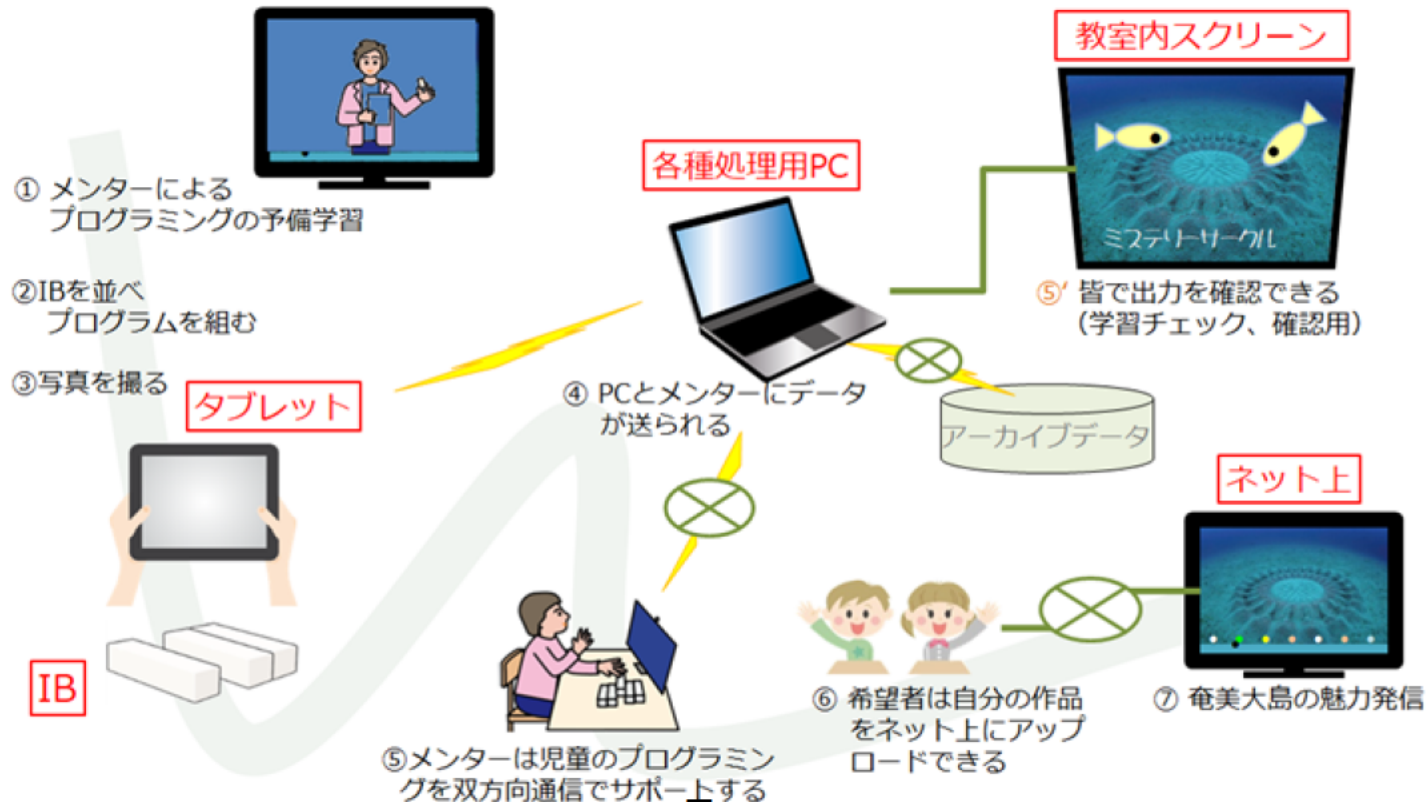
- 栽培プロセスの管理
- 農薬チェック
- コスト管理
- 生産・品質管理
- 人材育成 など

宇部市IoT推進ラボ(設立予定)

- ▶ 農業分野でのIoT活用の研究・開発
- ▶ 新ビジネスの創出

(奄美大島の魅力を地元の小学生が発信するプログラミング教育)

提案者			
事業費	13,574千円	実施地域	鹿児島県大島郡瀬戸内町
事業概要	奄美大島内で、観光資源をIB(インテリジェントブロック:並べるだけでプログラムできるブロック)により、小学生がプログラミングし、その結果をインターネットで発信する。 狙い ①プログラミング学習 ②奄美大島の魅力の世界発信 ③ネット配信による児童生徒の教育		



鶏舎へのクラウドIoTシステムの実装

提案者	大宜味村		
事業費	15,000千円	実施地域	沖縄県国頭郡大宜味村
事業概要	鶏舎内にクラウド接続IoTセンサーを設置し、鶏舎内環境の数値化、可視化する。 高低差のある広大な敷地でのルーティン巡回業務を省力化、業務効率化をはかる。 鶏舎内環境保全に関わる業務時間増加により成績向上（死鳥発生低減）▶売上高向上を目標とする。		

課題

- ・慢性的な高齢化、人手不足
- ・人の労力、経験に頼った飼育
- ・広大な鶏舎敷地面積で
ルーティン見回りに要する労力甚大
→管理保全が十分でない状態
→成育率94~95% (本土平均▲2~3%ロス)

方策

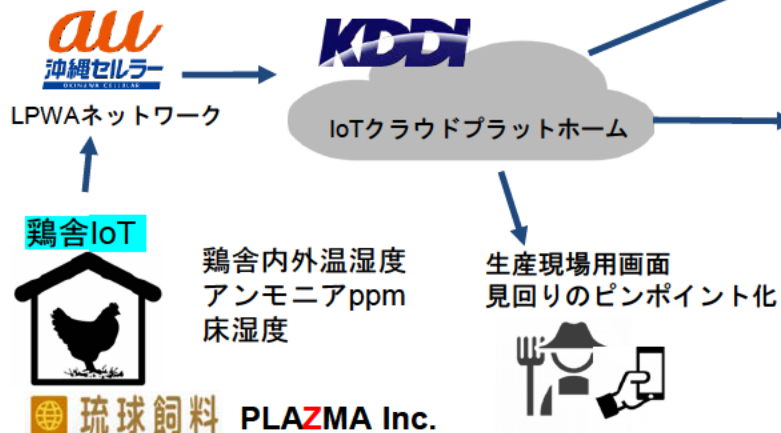
- ・鶏舎内環境IoTセンサーを設置
対象規模：総床面積4,750坪
- ・センサー総数：3箇所×29棟
- ・監視カメラ：1箇所×29棟
- ・クラウド中央管制システム
- ・クラウドデータベース

成果目標

- ・飼育環境保全のピンポイント化による見回り歩行距離短縮
▶飼育環境保全業務充当時間増
▶飼育環境保全に関わる作業時間増
による成育率**1%向上 (410万円相当)**
(死鳥発生率の低減=売上高向上)

大宜味村における鶏舎クラウドIoTシステム概要

次フェーズ



- ・中央管制画面
- ・データベース可視化



- ・現場指示助言の最適化
- ・エビデンスに基づく経営改善と経営戦略
- ・小売業者との積極的連携
- ・同業他社との生産連携

本事業の効果・発展性

- 生産現場間の出荷時期連携による県産品（国産品）シェア拡大
- 生産者の経営効率の改善による、現場従事者の不安解消、廃業回避
- 次フェーズにおける、累積データベース活用AI診断による出荷時期の最適化
- コンソーシアムによるシステム展開
県内全域→全国